結露吸水シートの貼り方

貼り方

1 仮止めする

貼るガラス面をきれいにします。シートを貼る面より1～2cm大きめにカットして裏面の保護フィルムを10cmほどはがし、貼る位置に合わせて仮止めします。

●裏面の保護フィルムのはがし方●



セロハンテープを表面と裏面の角に貼り、開くようにはがします。



よりキレイに貼るために…

ワンポイントアドバイス

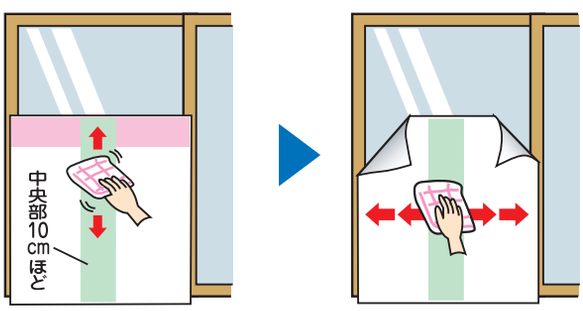
霧吹きなどを用意して、シート糊面に水をスプレーしてからお貼りください。特に大きな面に貼る場合はこの方法をおすすめします。

※スプレーしてシートが濡れても、すぐに乾燥するので本品の性能には影響ありません。



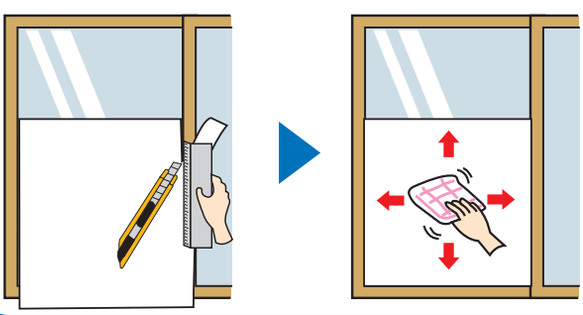
2 窓ガラスに貼る

裏面の保護フィルムをすべてはがし、中央部を縦に10cmほどタオルなどで圧着します<左下図>。
仮止め部を一度はがし、中央から外側に空気を押し出すように貼ります<右下図>。



3 カット

貼り終えたら、シートの余分な部分はカッティングメジャーをあて、カッターナイフで切り取ります。最後にシート全体をタオルで充分に押しあてます。
(あまりこすり過ぎないように)



必要な道具


カッティングメジャー(定規)


タオル


カッターナイフまたはハサミ


霧吹き
大きな面を貼る際

屋内貼り用

透明板ガラス		くもりガラス		凸凹ガラス				複層ガラス	LOW-Eガラス
				網入り		網なし			
網入り	網なし	平らな面	ザラザラ面	平らな面	凸凹ガラス面	平らな面	凸凹ガラス面		
○	○	○	×	○	×	○	×	○	×

ご注意

- 結露の発生は気温などの環境条件により変化しますので、完全に吸水しきれない場合があります。
- ヒビ割れたガラスに貼りますとガラスの破片でケガをする場合がありますので貼らないでください。
- ガラス以外に貼りますと気泡がでたり糊が残る場合があります。
- 不要になりました保護フィルムはスベリ易いのでご注意ください。
- 圧着が不足しますと、気泡が残る場合があります。また、ゴミなどがシートとガラスの間に入りますと、気泡の原因となりますのでご注意ください。
- 低温(5℃以下)または高温(35℃以上)の場所での貼りつけはお避けください。
- 施工後は繊維が欠落する恐れがあるためシート表面をこすらないようにしてください。
- 使用条件によりカビが発生する場合があります。
- シートの素材は引火の可能性があるので直接火にふれないよう充分ご注意ください。
- シートが不要になった際は、気温が20℃以上の時にはがしてください。気温20℃未満の状態ではがしますと糊がガラスに残る場合があります。またはがす際は端からゆっくりとはがしてください。無理にはがすと糊が残りやすくなります。

品質表示

(断面図)
- 不織布(レーヨン/パルプ)
- ポリエステル
- アクリル系粘着剤
- 保護フィルム

MADE IN JAPAN



ラベル



外装フィルム
芯材